

工業会活動

令和3年度JAQG サプライチェーンマネジメント ハンドブック説明会について

1. はじめに

JAQG (Japanese Aerospace Quality Group) は、世界の航空宇宙業界における品質活動をリードするIAQG (International Aerospace Quality Group) に対応した国内組織として、4社のIAQGメンバー企業 (IHI、三菱重工業、川崎重工業、富士重工業) を中核として、2001年当工業会 (SJAC) 内に設置された。JAQGの主な活動は、航空宇宙分野の品質マネジメントシステム規格である9100規格 (汎用的な品質マネジメントの国際規格ISO9001に航空宇宙業界特有の要求事項を追加したもので、日本ではJIS Q 9100 : 2016年版規格として発行されている) の制定／普及、JIS Q 9100認証制度の運用と監視、品質保証に関するガイダンス・ベストプラクティスを提供することである。

JAQG設立当初79社であったメンバー企業数も、現在では500社に達し、活動を展開している。

本報告は、令和3年11月にJAQGメンバーに向けて、On-Lineで開催した令和3年度JAQGサプライチェーンマネジメントハンドブック説明会の概要を紹介するものである。

2. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) とは

SCMH (Supply Chain Management Handbook) は、IAQGが中心となって作成・維持している、サプライチェーン全体に向けた体系化されたガイダンス／トレーニング資料／ベストプラクティスをまとめた文書である。

JAQGはSCMH開発に参画するとともに、その和訳版を作成し、組織のQMS (Quality Management System) 向上に必要なベストプラクティスをJAQGメンバーに提供している。

3. サプライチェーンマネジメントハンドブック (SCMH) 説明会実施状況

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、11月28日にOn-Lineにて開催し、JAQGメンバー企業から261名 (参加企業数としては、111社のJAQGメンバー企業) の方の参加を頂き、以下の要領で実施した。

- (1) 挨拶、及び説明会の趣旨説明
(JAQG 幹事長 松田 豊
(川崎重工業株式会社))

(2) SCMHWG活動説明

(藤本 直樹 SCMHWGメンバー
(株式会社 IHI))

・SCMH和訳版の公開状況、アクセス方法、JAQGが独自に作成したガイダンス文書・ハンドブック等の紹介。(図1)

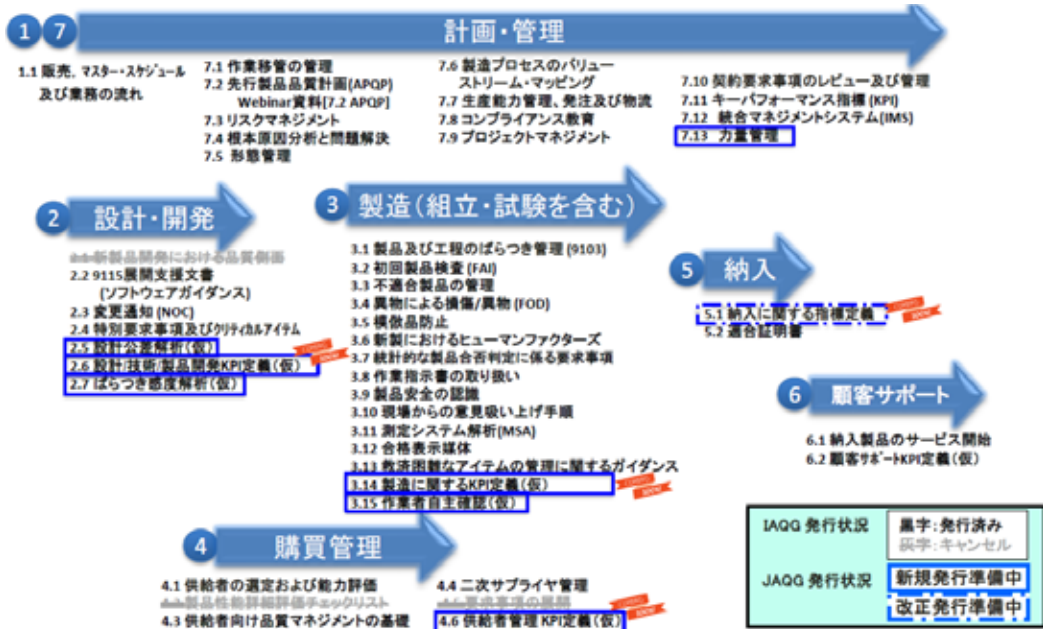


図1 SCMHWG 発行状況 (JAQG和訳版)

(3) 模倣品防止

(古賀 貴三 SCMHWGメンバー
(株式会社 島津製作所))

・サプライチェーンにおける模倣品の拡散を防止するため、組織の役割や置かれた

立場に応じて、模倣品や模倣品が使用された製品を入手してしまうリスクをコントロールするためのベストプラクティスの紹介。(図2)

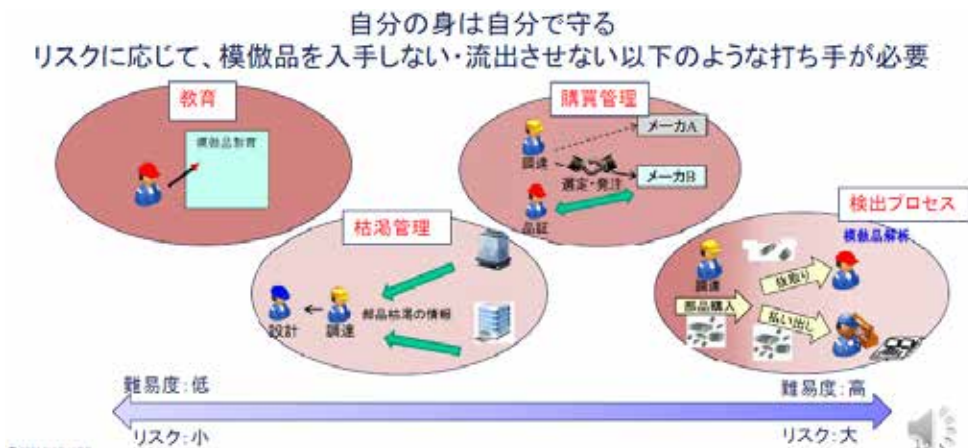


図2 模倣品防止のために

(4) 先行品質計画

(服部 洋彦 SCMHWGメンバー
(三菱重工業株式会社))

- ・ SJAC9145規格 (APQP (Advanced Product Quality Planning) /PPAP (Production Part Approval process) 要求事項) について情

報提供を行い、規格の理解及び適用を支援、並びに各種推奨様式を提供した。APQP/PPAPの概要説明に加え、2019年度SCMH説明会以降に発行されたSCMH和訳版を中心に説明。(図3)

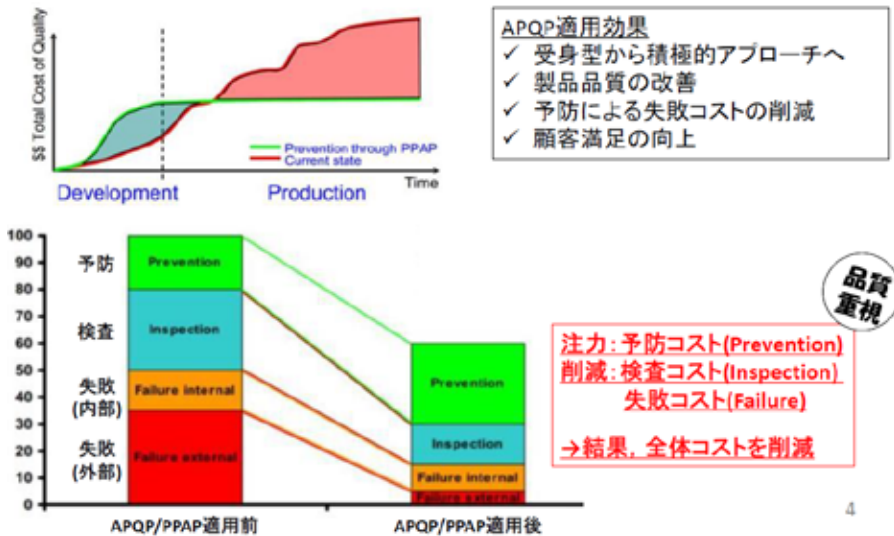


図3 APQP/PPAP効果

(5) 根本原因分析と問題解決

(澤中 裕子 SCMHWGメンバー
(川崎重工業株式会社))

- ・ SJAC9136規格「航空宇宙 根本原因分析及び問題解決 (9S方法論)」をベースとした、根本原因分析と問題解決に関する

るガイダンスの提供。

- ・ これらは、品質、納期に関するパフォーマンス、コスト、及び最終的には顧客への影響を最小限にすることを目的としたものである。(図4)

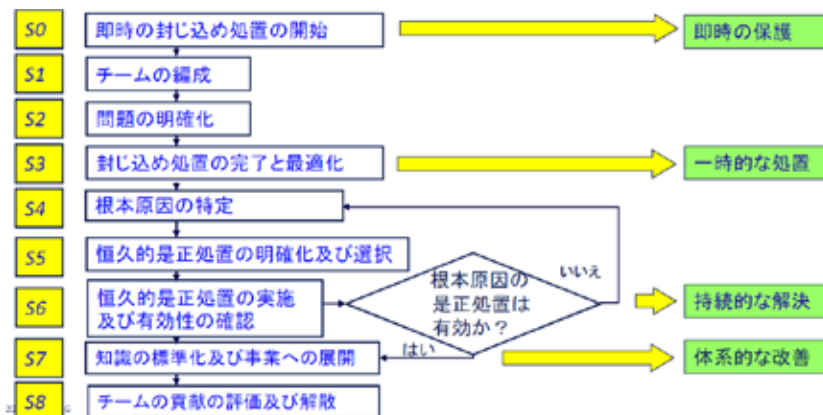


図4 プロセスステップと評価

(6) キーパフォーマンス指標

(藤本 直樹 SCMHWGメンバー
(株式会社 IHI))

- ・組織のQMSのパフォーマンスを評価するために、サプライチェーンの主な領域

である顧客の定量評価、技術及び製品開発、プログラムマネジメント、製造及び生産、供給者管理、インサービス（運用中）をカバーする、キーパフォーマンス指標（KPI）定義のリストを提供。（図5）



図5 JAQG HP に掲載されているキーパフォーマンス指標（KPI）資料

(7) 質疑応答

本説明会では、参加申込時に募集した事前質問に加え、説明会開催中にネット上で参加者からの質問を受付け、説明セッション終了後に回答した。

なお、説明会当日の配付資料のpdfファイル版、質疑応答、及び説明会の講演録画については、JAQGメンバー専用ページに掲載しているので、詳細については以下を参照されたい。

JAQGメンバー専用ページ ⇒ SCMHWG関係情報 ⇒ 令和3年度 SCMHWG説明会

(8) アンケート結果

説明会后、実施したアンケートによると、“知りたい内容をカバーしていませんか？”との設問に対して、満足度が“高い+やや高い”を併せて84%、“SCMHWG説明会は分かり易かったですか？”との設問に対しては、83%といずれも高い結果が得られた。（図6）

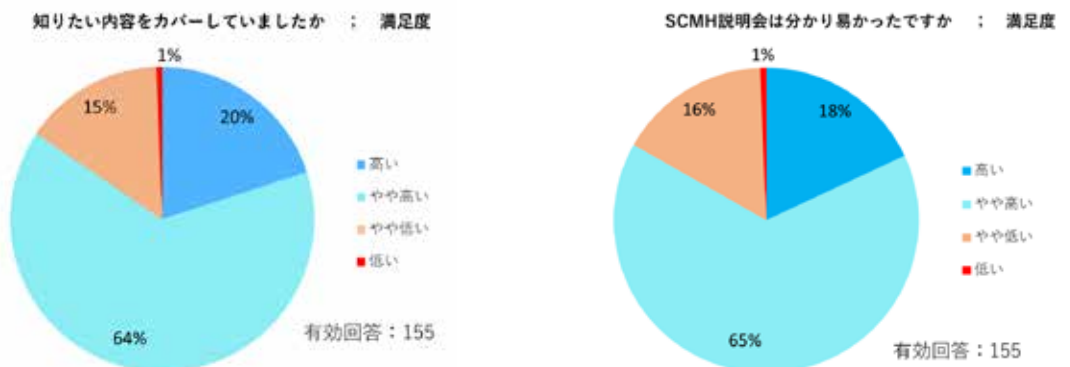


図6 アンケート結果

4. おわりに

以上、今年度のJAQG SCMH説明会について内容を紹介した。SCMH説明会はJAQGメンバーからの開催要望に応え、4度目の開催となった。On-Lineでの開催となり、対面での熱気を感じることはできなかったが、「On-Lineでの開催で、移動必要が無く良かつ

た」とのご意見も多数見られ、SCMH説明会等の開催方法の一形態としてOn-Lineでの開催が定着してゆくものとする。この他、頂戴したご意見は今後のJAQG活動の参考とさせていただきます、JAQGメンバー会社の品質向上、コスト低減への一助となるように活動を進めていく。

〔(一社) 日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター (JAQG) 事務局 部長 前畑 貴芳〕